

### 自学のイメージビデオ 政策コンテスト

### 相模女子大学



「さがみ発想コンテスト」は発想する力を高めるとともに、地域と社会に貢献する女性を育てることを目的として、2011年から開催されている。昨年度開催された第13回のテーマは「ワタシたちの相模女子大学 イメージビデオ制作」。2025年に創立125周年を迎えるにあたり、「女性の活躍を支援し、地域とともに発展する『開かれた学園』」の実現に向けてアイデアを募集した。グランプリを受賞したアイデアをもとに制作したビデオ「学園のバトン」は、大学公式YouTubeで公開されている。

### 子どもならではの発想で 未来社会への夢の絵画を募集



### 名城大学

名城大学天白キャンパス内にある「赤崎・天野・吉野ノーベル賞記念展示室」では、全国の小学生を対象に「ミライ社会へのユメ絵画展」コンテストを開催している。科学への興味喚起を目的に2021年から開催され、今年で4回目。2019年にノーベル化学賞を受賞した吉野彰教授などが審査員をつとめ、受賞者は吉野教授らが列席する表彰式に招待される。子どもならではのユニークな発想で描かれた作品は、毎年3月に同展示室内で展示され、だれでも自由に見学できる。

### マイナビ仙台集客戦略コンテストを開催



### 仙台大学

仙台大学で「マイナビ仙台集客戦略コンテスト」が開催された。体育学科スポーツマネジメントコースの学生がゼミごとに集客に関するアイデアや戦略を発表し、審査員として株式会社マイナビフットボールクラブの本俣陽一社長が参加した。最優秀賞は朴澤憲治ゼミの学生たちが受賞し、大学から目録、マイナビ仙台からはサイン入り公式ユニフォームが贈られた。同コンテストは、同大学とマイナビ仙台のアカデミックパートナーシップ協定の一環として開催され、今後も産学連携を通じて実践的な経験の機会が提供される。

### 「日薬ハイスクール 科学・探究発表会」で探究学習支援



### 日本薬科大学

日本薬科大学では、昨年11月17日(日)にさいたまキャンパスにて「2024年度 日薬ハイスクール科学・探究発表会」が開催され、11校・約100人の高校生が参加した。探究学習や部活動で行ってきた様々なテーマの研究結果が発表された。発表後の質疑応答では、参加生徒からたくさんの質問もあり、他校の生徒と交流する機会になったと同時に、発表者は自身の研究について新たな発見や課題を得ることができた。次年度も同時期に「日薬ハイスクール科学・探究発表会」を開催予定。

### 広島国際大学



美味しさと栄養で  
大切な人をサポート!  
健康レシピコンテスト

第12回のバリオリパラスポーツ応援レシピ最優秀賞

管理栄養士など、健康・医療・福祉分野のスペシャリストを育成する広島国際大学は、高校生を対象とした健康レシピコンテストを2013年から開催している。家族や友達などに食べてもらいたい料理を考え調理する機会を通して、毎日の食生活の大切さに理解を深めてもらうことが目的だ。毎年流行りを取り入れたテーマのもと、主食・主菜・副菜などバランスのよいレシピ作成を基本ルールとし、ゲスト審査員と学内審査員で審査を実施。自由な発想を生かしたさまざまな料理のレシピが、コンテストを大いに盛り上げている。

### 大学主催の文学賞から 小説家を輩出

### 四国大学

四国大学主催の「富士正晴全国高校生文学賞」は全国の高校生対象の文学賞だ。前身の全国高等学校文芸誌賞(文芸誌甲子園)を引き継ぐ形で現在第5回を迎えている。受賞者が文芸創作を学ぶため四国大学日本文学科に入学するケースも多々あり、その一人石澤遥さんは第19回「とくしま文学賞」小説部門最優秀賞、第40回「織田作之助青春賞」、第30回「三田文学新人賞」佳作を次々と受賞、現役大学生として初めて「阿波文化創造賞」が徳島県から贈られた。



### 高校生広報 アイデアコンテスト



### 嘉悦大学

嘉悦大学ではアクティブラーニング型の学びも取り入れ、企業が求めるマーケティングスキルを持った広報人材の育成を図っている。高校生にもこのような学びを体感しチャレンジしてもらう場として、未来の「広報クリエイティブ人材」を育てる「高校生広報アイデアコンテスト」を2024年からスタート。第1回のテーマは「あなたが住んでいる街の良さを伝えよう」。イラスト・写真・動画からキャッチコピーまで幅広い表現形式で街の魅力を伝える作品が集まった。2025年も同テーマで6月2日から9月9日まで応募を募る。

### 留学生の日本語スピーチコンテスト開催 吉備国際大学

吉備国際大学では、キャンパスのある岡山県高梁市とその周辺地域に在住する外国人留学生の日本語修学の一助とするとともに、地域社会への理解を深め国際親善に寄与することを目的に、毎年1月に「日本語スピーチコンテスト」を開催している。第15回目の開催となった2024年は、「私が一番大切にしていること」をテーマに、14人の留学生が出場し、流暢な日本語に、アイコンタクトや身振り手振りなどの表現力も合わせて、自分の気持ちをしっかりと聴衆に伝えた。



### 全国高校生歴史 フォーラムの開催

奈良大学主催の「全国高校生歴史フォーラム」とは、全国の高校生に呼びかけて地域の歴史や文化、地理、文化財、文学、人物、社会などに関する研究成果を同大学で発表してもらうというプロジェクトである。高大連携を目指す取り組みとして、平成19(2007)年度から開催している。目的の一つは、一人でも多くの高校生に歴史への関心を深めてもらうこと、もう一つは高校生たちの持つ歴史研究へのまなざしやエネルギーを、大学における教育と研究の中に活かし、学生の研究活動の活性化に繋げることである。



### 奈良大学

### 高校生ふくし文化賞・ エッセイコンテスト



### 日本福祉大学

日本福祉大学では、高校生が身近なところにある「ふくし」に気づき、それを文章で表現することで、「ふくし」のことを考える機会にしてほしいという思いから、2003年から本コンテストを毎年実施。これまでに延べ17万を超える応募があった。2024年(第22回)は「わたしとふくし」というテーマのもと、日常のくらしのなかにある「ふくし」を切り取り、一人ひとりの想いを見事に表現した作品7841点が国内外から届き、入賞33作品と学校賞13校を選定した。

キャンパス万華鏡

大学主催のコンテスト